

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車工学		
科 目 名	エンジン構造 3		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科・二級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	1年後期	水曜日	1・2時限あるいは3・4時限
時 限 数	24時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	八木 孝治		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場において、保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となるガソリン及び二輪車のエンジンを構成する各装置についての講義を実施する。		
授業の目的	ガソリン及び二輪車のエンジンを構成する各装置・部品の構造・機能、及びそれらの装置の作動について講義する。		
テキスト	①三級自動車整備士（総合）（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②ガソリン・エンジン構造（全国自動車大学校・整備専門学校協会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第1回	潤滑装置	潤滑装置の概要・構造・機能、エンジンオイルについて解説	①P.87～90 ②P.55～60
第2回	冷却装置 1	冷却装置の概要・構造・機能について解説	①P.93～95 ②P.61～64
第3回	冷却装置 2	冷却装置のサーモスタットや不凍液の構造・機能・役割について解説	①P.96～98 ②P.64～68
第4回	吸排気装置 1	吸気装置の概要・構造・機能について解説	①P.101～103 ②P.111～113
第5回	吸排気装置 2	排気装置の概要・構造・機能について解説	①P.103～104 ②114
第6回	燃料装置 1	燃料装置の概要について解説	①P.106～107 ②P.69～85
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第7回	燃料装置 2	燃料装置の各構成部品の構造・機能について解説	①P.108～110 ②69～85
第8回	電子制御装置 1	電子制御装置の概要、吸気系統の構造・機能について解説	①P.113～117 ②P.88～95
第9回	電子制御装置 2	電子制御装置の制御系統の構造・機能について解説	①P.118～121 ②P.95～98
第10回	排出ガス浄化装置	排出ガス浄化装置の概要・構造・機能について解説	①P.131～135 ②P.115～118
第11回	車載式故障診断装置	車載式の故障診断装置について解説	①P.136～137
第12回	まとめ	期末試験へ向けた練習問題及び全講義の復習	
	期末試験	第1回～第12回までの授業内容に関する筆記試験	

到達目標	ガソリン及び二輪車のエンジンの基本となる部品名称・構造・機能・作動を修得すると共に、それらの部品の関連性を理解できること。
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が40点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30％ 期末試験の点数 40％ 平常点 30％</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が60点以上である場合、以下によって評価する。</p> <p>60～69点＝可、70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>60点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで60点以上のとき履修を認定し、成績は60点＝可とする。</p>
成績評価できない場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50％を満たしていない場合、又は、成績評価が60点未満の場合。